

ポットファーム
POT FARM
a cultivation system

おいしい

1.2リットルの培地で根域制限している状態なので、糖度・酸度が上がりパンチの効いたおいしいトマトになる。

作物に優しい

作物に必要な養分全てを的確に供給できるため、常に若々しく生育し、病気に対する抵抗力が落ちない。

人に優しい

ベンチの高さが50センチなので収穫時など作業姿勢がきつくない→人への負担軽減。

低コスト

耕運機不要。タイマー制御と排液センサーシステムで効率がよい。根鉢に重量がかからないため、頑丈な架台を必要としない。

環境に優しい

土壌消毒が必要ない。病気の原因菌を培養する圃場の土が隠れているため、罹病の可能性が低く、消毒回数を軽減できる。

高収量

作物に必要な養分全てを的確に供給。通常栽培に比べ葉がしまり大柄にならない。体力を長期(25段/1年)に持続可能。



高品質PFCS苗



有機培養土+不織布ポット
+ポットファームトレー



糖度・酸度の高いトマト

ポットファーム
POT FARM
a cultivation system

独立ポット土耕養液栽培システム

生き残れる循環型農業をめざして



生き残れる農業をめざすために、青果の生産性向上・栽培のシステム化・規模拡大は避けて通れません。しかし、トマト栽培の現場では土壤病害の発生により思うに任せない状況です。土壤消毒、土壤改良の手段により回避を試みるもどれも、有効な手立てになっておりません。

現状一番簡易で有効な手段として弊社も、接木技術により土壤病害に抵抗性の有る台木品種を使うことで土壤病害を回避させていますが、本年度は夏季の高温もあり各地で土壤病害が頻発し、完全ではない事を思い知らされました。接木販売は年を追って好調ですが、接木作業は手作業に頼るところがあり、育成本数に限界が有ります。

そこで、土壤病害を回避するもう一つの手段として、土壤から逃げる事で土壤病害を回避するシステムを全国へ普及する事となりました。

普及会の名称は「ポットファーム研究会」で、全国4社で構成しており、結束して普及に努める所存です。

今回ご紹介する「ポットファーム」は独立ポット土耕養液栽培システムの愛称です。非常にわかりやすく管理し易いシステムで、設置費用が低コストでできることが最大のメリットです。

培地は1.2リットルで独立しており、毎年培地は交換するため、土壤病害の発生は皆無な状況で、たとえ発生したとしても拡散しません。また、排液が監視できるため、給液の無駄も省け、栽培中の大きなダメージを起こさせません。

苗は弊社開発のポットファーム専用苗を使う事により面倒な育苗をさげ、確実に栽培をスタートできる等々、他システムに比べ様々なメリットがあります。

収量も格段に上がるシステムで、栽培マニュアルも確立しており、新規就農者でトマト栽培を志す人、トマト栽培を継続する人など、早く収量を安定させ、土壤病害に悩まされない経営を目指す方に適しています。

また、土壤に防水シート、防草シートを張り土壤に蓋をするので空気感染、飛まつ感染も出にくくなる為、減農薬も可能です。

RSP ピーエスピー株式会社
代表取締役社長 重岡 伸一